

嶺北 消防署長 様

申告者 住所
職業(職) 電話
氏 名

動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	占有者・管理者・所有者					
	り災場所								
2	世帯員	氏 名	続柄	年齢	性別	氏 名	続柄	年齢	性別
					男・女			歳	男・女
					男・女			歳	男・女
					男・女			歳	男・女
3	火災保険	契約会社名		契約年月		保険金額(万円)			
4	り 災 物 件								
	品 名	数量	り 災 別	損害見積額 又は 購入時価格(円)					
	例(ベッド)	2	焼損・爆発・その他	200,000 (使用 5年)					
	例(スーツ)	8	焼損・爆発・その他	240,000		(使用 年)			
			焼損・爆発・その他	(使用 年)					
			焼損・爆発・その他	(使用 年)					
			焼損・爆発・その他	(使用 年)					
			焼損・爆発・その他	(使用 年)					
			焼損・爆発・その他	(使用 年)					

動産り災申告書記載要領

（1の欄）

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

（3の欄）

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

（4の欄）

- 1 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。
（例）背広3、くつ類30、下着類50、食器類150、本300、化粧品80等
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
（1）焼 損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、熔融、破損したものなど
（2）爆 発：爆発により、壊れたものなど
（3）その他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出すときに壊れたものなど
- 3 損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積もり、点線の左欄に記入してください。また、損害額が見積もれない場合は、点線の右欄に購入時の価格と（使用 年）内に使用年数を記入してください。
なお、使用年数は整数とし、1年未満の端数は切り捨てとします。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、動産のあった建物ごと、世帯ごとに提出してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書がでていと早く発行することができます。
- 6 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

嶺北 消防署 課
電話

